

ふたば救急総合医療支援センターによる医療提供支援の取組

- 目 的 双葉地域における救急及び再開医療機関の支援、医療従事者の確保
- 1 双葉地域の2次救急の確保支援
 - 2 双葉地域の広域的な総合医療支援
- ※ 帰還住民や原発作業員、除染作業員のニーズや要望を把握し、医療支援を行う
- 実施主体 福島県立医科大学附属病院（県委託事業）
- 設 置 平成28年4月（県立医科大学附属病院に開設）

双葉郡等避難地域の
医療提供体制検討会
（H27.9～）の議論を
踏まえて設置

双葉地域の医療提供上の課題

帰還の意思決定に影響

- ① 除染作業員や原発作業員への医療提供
- ② 地域内の二次救急病院が再開していないため、いわき市等近隣の二次救急医療機関の負担が増大
- ③ 病院受入までの時間が拡大

- ① 採算見通しの不透明さから、医療機関等の再開が進まない。また、スタッフ確保の厳しさから、再開した医療機関も震災前の医療ニーズを提供できていない
- ② 難病者やいわゆる「交通弱者」への医療確保

ふたば救急総合医療支援センターの取組

1 救急グループ（救急医）

- 双葉地方消防本部（楡葉分署）に待機する救急医が、救急通報に応じ現場で初療（トリアージ等）
6月1日 県立医大は双葉地方広域市町村圏組合と協定締結
- 三次救急事案では、ドクターヘリが到着する前に初期治療を開始

2 在宅訪問グループ（総合診療医）

- 事前に保健師等と調整し、地域において必要と判断された患者に訪問診療を実施
- 再開医療機関への通院が困難な患者（身体が不自由、移動手段がない患者等）に訪問診療を実施

近隣二次救急医療機関の負担軽減
救命率の向上

医療の確保による
安全・安心

地域の再開医療機関の支援
通院が困難な患者への医療の提供

避難地域への帰還・生活再建の促進